

【富士見の1コマ】 地区を代表する景観構成要素



現況図



ふるさと自慢〔住む人の声〕

歴史
富士見かるとに代表される村の歴史

街道
沼田街道米野宿（米野宿水車跡、米野宿地藏尊）

赤城山遠望軸
赤城山の四季、山頂までの景観

樹木
大カヤ
十二山のつつじ、九十九山の桜
珊瑚寺の梅、珊瑚寺の蓮の花
白樺
沼田街道沿いのドーム菊

人
偉人、船津伝次平の墓、生家

気候
赤城山山頂は北海道と同じような気温

祭
横室の祇園

芸能
横室歌舞伎

地場産業
養蚕農家

地区の課題

景観にかかる課題1
市民の日々の生活に寄り添うように常に存在する赤城山を、市民全体の精神的な財産として保全する。

景観にかかる課題2
一部の里山や農地などの中に、十分に手入れがされていないところがあり、また、松くい虫や酸性雨の影響などによる枯損木があるなど、景観を損ねている。

景観にかかる課題3
南北に縦断する赤城白川の維持管理が不十分なため、河川景観が活かしきれていない。また、用水についても、まちの中を流れることから、身近な水辺として景観的配慮が求められる。

景観にかかる課題4
高齢化や後継者不足のため、休耕田が増加し、田園風景が減少しつつある。

景観にかかる課題5
伝統文化の継承、歴史的資源のつながり、ネットワークの拡充が求められる。

体制にかかる課題1
地域住民活動の景観形成への展開が少なくなってきている。

夜景

各地区の花火の一望

自然

覚満淵、大沼
赤城白川（白川の自然護岸）
沼の窪の座禅草
親水公園
十二山（石段、ちょうちん）

建物

畜産試験場のレンガ造りの建物

農業

農業を含めた景観
群馬用水、大正用水
大根、ほうれん草

その他

八幡様、赤城山は水源地

文化財など

時沢の不動堂、赤城大鳥居、九十九山古墳
珊瑚寺、珊瑚寺の子育て地蔵、文学碑
お地藏様

**景観形成重点地区
候補地**

横室の大カヤ周辺地区
米野宿周辺地区
大沼周辺地区

地区の方針

景観形成方針 1

赤城山の豊かな自然を保全していくために、良好な土地利用と適正な維持管理がなされるよう配慮するとともに、赤城山からの眺めを守る。

景観形成方針 2

富士見を縦断して流れる赤城白川は、地区の貴重な資源であり、周辺の緑とともに守り育てる。

景観形成方針 3

東西に走る主要な道路の眼下に広がる市街地と、赤城山、榛名山の眺望を障害しないよう、沿道の建物や屋外看板類も含めた景観形成を行う。

景観形成方針 4

傾斜に点在する集落、段々畑、棚田など、傾斜地から作り出される景観を今後も受け継ぎ、それらを活用したまちづくりを進めていく。

景観形成方針 5

既存の里山や屋敷林などに配慮しながら、街路樹や生垣、公共施設等の植栽を増やし、生活の場における緑の充実を図る。

景観形成方針 6

新たな開発や河川改修等、自然に手を加える際には、動植物に配慮した工法の導入や自然素材の利用を促進し、自然と共生できる環境整備を行う。

景観形成方針 7

横室の大カヤなど、現存する有形、無形文化財等の資源を保護していくとともに、まちづくりへの活用を図る。

景観形成方針 8

横室の歌舞伎などの伝統文化や芸能、祭りを継承するとともに、祭りの場やその周辺地域も含め、それらを意識した景観形成を行う。

景観形成方針 9

沼田街道にある米野宿は、宿場町としての面影を伝える、土蔵、道しるべなどの身近な地域資源として残し、その歴史性を活かした地域づくりを行う。

体制整備方針 1

景観形成に寄与する地域住民活動に対する柔軟な支援体制を整える。

体制整備方針 2

地域の歴史、文化を伝承する地域住民活動に対する柔軟な支援体制を整える。

体感・体験図〔住む人の目〕

